

名阪国道の安全対策と広域ネットワークの構築について

【担当省庁】国土交通省

天理市における取組

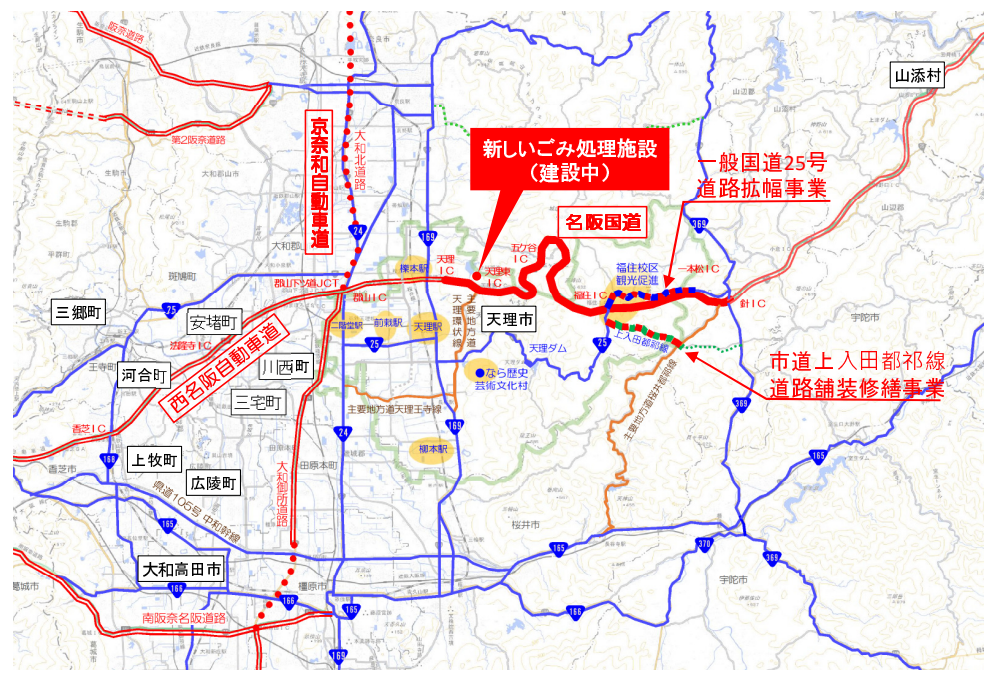
(現状・課題)

名阪国道は、大阪と名古屋を結ぶ高規格幹線道路であり、近畿圏の観光・物流・経済を担い、我々、沿道市町村の住民の生活には欠かせない道路である。

昭和40年12月の開通以来、交通安全対策事業の実施により、改良・整備が加えられているが、オメガカーブをはじめとした急カーブ・急勾配が連続しているため、依然として事故発生率が高く、事故・風水害・雪害に起因する通行止めが年に数回は発生している。

また、奈良県の南北軸である京奈和自動車道の整備が進められ、今後は物流の強化や沿線地域のまちづくりの進展を図るためにも、広域ネットワークの東西軸の強化が必要不可欠である。

地域の産業や観光の振興、及び市民・周辺住民の安全・安心を確保するため、名阪国道スマートアップ計画の推進、周辺道路整備の促進が急務となっている。



(名阪国道など高規格道路の活用効果)

10市町村※では、広域組合を設立し、新しいごみ処理施設を令和7年4月の供用開始に向けて施設整備を進めている。

名阪国道、京奈和自動車道、西名阪自動車道等を活用し、大型車両でのごみ搬送によって搬送時間が短縮し、広域的なごみ処理事業の効率化が期待される。

※10市町村:天理市、大和高田市、山添村、三郷町、安堵町、川西町、三宅町、広陵町、上牧町、河合町

(名阪国道周辺の道路整備) 一般国道25号道路拡幅事業(奈良県)や市道上入田都祁線の舗装修繕工事(天理市)等の名阪国道を補完する県道・市道の整備を進めている。



一般国道25号(福住工区) 天理市道上入田都祁線

国にお願いすること

1)「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、幹線道路である名阪国道や京奈和自動車道などとネットワークを構築する周辺道路整備を行うために必要な予算・財源を十分に確保すること。

2)安全で快適な生活環境を守るため、「名阪国道スマートアップ計画」に基づくインターチェンジ改良、安全施設の充実等の事業を引き続き推進するとともに、なお一層の改良促進と適切な維持管理を行うこと。

3)安定的かつ安全・円滑に利用可能な広域ネットワークを構築するため、危険箇所の解消や道路の最適利用に向けた抜本的対策を行うとともに、東西軸である名阪国道の定時性を確保するため、国・県・市町村が連携した取組の強化を図ること。

【担当部署】 天理市土木課